事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

R6年2月29日実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	子どもの活動等の安全性に配慮されているか		○		空間の使い方等工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			今年度は専門職を手厚い人数で配置している（看護師・作業療法士・保育士）
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		スロープ、屋根、手すりは設置しているが既存の施設を利用しているため、改善の課題はある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		既存の住宅を利用しているため、十分とはいえない。清潔に保つ為の環境整備は行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者の意向を職員、法人内で共有し　業務改善の努力をしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	法人総務では評価を行っている。第三者評価は将来的に検討している。法人理事会において事業報告を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナの影響もあり、外部研修の機会は減っているが、リモートで参加できる研修に関しては参加するよう努めている。内部研修に関しては全体の研修に加え専門的な知識を深める為の勉強会を別途行っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		保護者との対面でのヒアリングが十分とはいえなかったように思う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			専門職が軸となり意見を出し合いながら活動に繋げている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週1回ミーティングを行い、児童の様子や成長度合いに合わせた活動内容になるよう工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		休日、長期休暇の活動についてマンネリ化しないように工夫しているが、きめ細やかには設定できていない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全体での活動に加え、個々の特徴にあわせた活動ができるよう、各専門職が関わるように努めている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝の朝礼、ミーティングで当日の利用状況の確認を行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後のミーティングはないが、翌朝のミーティング等で連絡事項の伝達を行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、専門職別（医療、訓練、療育その他）の詳しい日誌を記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		コロナの影響もあり、担当者会議は行われていない。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象者はいないため
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今年度は参加する機会がなかった
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎月お便りを発行し日頃の活動報告を行っている。連絡帳を通して保護者と情報共有できるように努め、必要に応じて連絡ツール使用し素早い情報共有ができるようにしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者に対してのペアレントトレーニング等の支援にまでは至っていない。研修会の参加情報提供を行っている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度は開催できていないが、保護者同士が交流できる機会を積極的に設けていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のお便り、どりーまぁ通信をお配りしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		防犯に関しては不明。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		全員参加の訓練は行われなかった。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束、虐待防止委員会やマニュアルに基づき決定している。非常時の対応に対しては今後説明を行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			